



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1317 / 2015. 04. 24

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2014～2015 年度クラブテーマ
会長 石井 謙次

「ロータリーライフは例会から」
Rotary Begins from the weekly meeting

●本日の例会/ 2015 年 04 月 24 日 第 1346 回

卓話 : イニシエーションスピーチ
長谷川 毅 会員

●前回報告/ 2015 年 04 月 17 日 第 1345 回例会

クラブ協議会テーマ「交換留学生受け入れについて」
「30 周年記念式典について」



次年度橋本会長 :

①4/12 に東京あけぼの R C の認証伝達式へ参加しました。銀座・日本橋グループ所属、東京築地 R C がホストクラブで会員 22 名の会員年齢層が大変若いクラブです。当日は約 170 名が集まり盛大な会でした。

②RI の WEB サイト、マイロータリーの登録について、会長、幹事、R 財団委員長は必須となりました。会員増強目標、R 財団寄付目標、奉仕活動目標の入力が必須となりました。当クラブ増強の目標は 5 名、奉仕活動は、10/3 開催の奉仕のつどいを予定しています。

③5/24 に風の子会の「外に出よう」が開催されます。皆様是非ご参加ください。

親睦活動委員会 : (河邊委員長)

明日の親睦旅行についてご連絡いたします。9:45 に八重洲中央改札口に集合です。雪の上を歩きますので歩きやすい恰好をお願いします。何かありましたら私の携帯までご連絡ください。

ゴルフ同好会 : (長谷川会員)

ゴルフ同好会主催で 6/3 本厚木カンツリークラブでゴルフコンペを開催いたします。出欠につきましては 5/3 までに長谷川までよろしくお願い申し上げます。

広報委員会 : (関委員長)

地区公共イメージ委員会より 5/26 に水文化フォーラム「玉川上水を世界遺産に！」を六本木ヒルズハリウッドプラザの大ホールにて開催のご案内が届いております。是非ご参加ください。

次年度親睦活動委員会 : (畠中サブリーダー)

次年度の暑気払いは、橋本次年度会長の働きかけにより船清さんの屋形船を予定しております。皆様ふるってご参加ください。

幹事報告 : (岩上副会長代理)

地区よりミクロネシア連邦巨大台風被害の寄付のお願いが届いております。受付ニコニコボックスの横に寄付ボックスを設けましたので、ご寄附いただきたくよろしくお願い申し上げます。

慶事披露 :

100%出席
高須康有君 (25 年)



04 月 17 日 (金) / 10 件 21,000 円
累計 1,145,000 円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

石井謙次/先週の新会員歓迎会ご参加ありがとうございます。長谷川さんご苦労様です。尾関武男/本日はクラブ協議会。建設的な意見が出るといいですね。高須康有/4 月で会社が 90 周年を迎えることができました。100%出席のお祝いありがとうございます。入沢頼二/昨日は次年度広報委員会を尾関さんのお世話で東麻布の中華紫玉蘭(シヨクラン)で開催しました。次年度橋本会長、関幹事はじめ多数の委員の参加をいただき大いに親睦を深め、課題と目標がみえてきました。ご参加の皆様ありがとうございます。石井達/明日の親睦旅行楽しみにしております。西澤民夫/木下さんよくいらっしゃいました。大歓迎です。関陽一/長谷川さんお疲れ様です。熊本誠司/長谷川さんニコニコお疲れ様でした。藤井宏章/先日は新会員歓迎会ありがとうございます。長谷川毅/先日のファミリーデーはとても楽しい時間でした。ありがとうございます。昨夜は大阪より客人が来ていて、赤坂で夜をあかしました。まだまだロータリーの会員としてわからない事ばかりですが頑張っていきたいのでご指導宜しくお願い致します。

出席報告 :

会員 42 名
／出席 26 名 欠席 16 名

ゲスト : 木下京子
計 1 名 (敬称略)



坂本ガバナーより書簡



橋本 年男様 東京赤坂 RC

「友」4月号で、「奉仕のつどい開催」を拝見しました。大日方地区奉仕委員長が毎年各クラブからの奉仕を纏め、橋本さんが書かれている通りです。個人の会員が他クラブの奉仕を開けるチャンスはそんなにありませんので、なるほどと感じいた会員が大勢おられ、また自クラブでもと参考にされたと思います。大変よい企画だと思っています。私もガバナー補佐になる前は他クラブの活動を直接知りませんでした。「友」に出ているのを読むくらいでした。「友」は入会5年目ごろから半年に一度づつ「友」に投稿していました。入会5年目までクラブで何をしていたのか悩んでいました。そして上記のように「友」を読み、「友」に、10年間に約20編を投稿・掲載されました。クラブ会長になり「友」に投稿する時間が無くなってしまいました。地区に出るようになって地区の「友」委員に指名されたときは嬉しかったですね。2年間「友」地区委員でしたから、「友」を読むのが習慣になりました。今回橋本さんの「奉仕のつどい開催」を目にしました。詳細に大変わかりやすく書かれております。4月号にはたまたまガバナーのページもあります。2回目でしたので地区紹介も二つに絞って記しました。会員の皆さんによりしく。次の投稿を。

2015年4月吉日

坂本 俊雄

ロータリーの友 4月号より

奉仕のつどい開催

第二七五〇地区

東京都

地区では一月一八日、港区赤坂区民センターで「奉仕プログラム情報交換会」奉仕のつどいを開催。パシフィック・ベイ・スプリング・グループを含む地区内全クラブに呼びかけたところ、ほとんどのクラブが参加し、奉仕活動の重要性、関心の高さを表れを実感しました。

最初に坂本俊雄ガバナーが「この情報交換会でお互いが実施している奉仕への理解を深め、一層活発に行われることを期待する」と述べ、さらに「奉仕プログラム委員会が開催に当たり周到に企画し、準備されたことに心から感謝したい」とのねぎらいの言葉がありました。続いて大日方真幸プログラム委員長は「情

報を共有し、奉仕に献身する喜びを確認し合う日になりたい」と述べ、プログラムを進めました。

まず、地域社会奉仕プログラムの事例紹介として三クラブが発表。職業奉仕委員会がパネルディスカッションを開いて休憩に入り、続いて国際奉仕プログラムから三つの事例が紹介されました。国際親善委員会からは日韓親善に関する発表。また、「ロータリーデー」として実施した港区民まつりでのイベントを、千代田グループが発表。さらに、環境改善委員会からの事例紹介もありました。後半には服部陽子国際奉仕委員長から合同奉仕の呼びかけ、奉仕プログラム委員の海老澤秀幸氏と沢野次郎氏から奉仕プログラム調査の分析の発表があるなど、盛りだくさんの



地区内の奉仕プロジェクトの情報を交換

プログラムが終了。水野功ガバナーエレクトが「大変意義深く、また奉仕活動の関心の高さがうかがえるものであった」と講評があり、幕を閉じました。

(東京赤坂 RC 橋本年男・記)

「ロータリーの友」に投稿しましょう！！

毎月お手元に届けられるロータリークラブ機関紙「ロータリーの友」では皆さんからの投稿を随時募集しています。メイキャップや奉仕活動の体験談、エッセー、俳句、さらには表紙写真など。投稿をきっかけにさらに友愛の輪が広がります。Eメール、郵送で直接投稿していただけます。

- ・活動紹介や写真は活動や撮影から1か月以内にお願いします。
- ・Eメール投稿の場合は、件名にクラブ名を記載すると原稿と画像データを別々に送ること。
- ・投稿が必ず掲載されるわけではありません。掲載する／しないの連絡もありません。

詳細はロータリー・ジャパン HP の投稿案内ページをご覧ください。

http://www.rotary.or.jp/tomo/toukou_kitei.html

広報リーダー 佐藤 仁

「めんぼう」への投稿を募集します。

日頃の例会で顔を合わせている会員同士でも、意外にお互いのプライベートなことは知らないものです。イニシエーション・スピーチで話しても、話し足りなかったりすることがあるでしょう。また、日々の話題などに対するご意見や感想で共有したいお話もあるかもしれません。「めんぼう」ではそうした会員の生の声を、お互いを更に深く知ってもらうきっかけ作りとして活用できるよう、不定期で掲載しています。内容は特に決まっています。ロータリー活動に関することでも、ご自分が日頃考えていることや信念を持っていることでも、あるいは、近況報告や仕事の話など、何でも結構です。普段は話す機会がなく言いそびれていたことでも、文字に残すことでみなさんに広く目にさせていただくチャンスが生まれると思います。この機会にめんぼうへの投稿をお考えください。また、「あの人にこんなテーマで書いてほしい」という申し出があれば、大いに歓迎します。字数は800～1,000字程度を一応の目安としますが、特に制限はありません。みなさまからの一筆をお待ちしております。

クラブ会報リーダー 佐久間 憲一

※「めんぼう」とは？

大日方年度(2001-02年度)にスタートした「会員から発信するコラム」です。もともになった言葉は、「Member's Voice」ですが、「めんぼう」は「綿棒」にも通じ、綿棒で耳の中をきれいにし、他の会員の話に良く耳を傾けようではないかという願いを込めたネーミングにもなっています。なお、記事が不足する事態を避けるために、会員からの投稿原稿をストックしておいていざという時に使おうという魂胆があるかどうかは、皆さんのご想像にお任せします。

●次回予告 / 2015年5月8日(金)第1347例会

卓話: イニシエーションスピーチ

藤井 宏章 氏

※ 5月1日(金)は、休会です。